

窓辺

食産業アドバイザーの
役割とは

なかの
中野 ヤスコ

食の流行がファッションと同様に数年先まで仕掛けられているのをご存じですか？ 公認スポーツ栄養士で管理栄養士の私は、アスリート支援、生活習慣病の予防や改善のための業務以外に、フードビジネスに関するアドバイザーとしての顔も持っています。

計算から人的な問題まで、交通整理しながら経営課題の洗い出しをしています。その上であらゆる健康課題に対応した製品・サービスの開発に取り組み、マーケティングの発想で販路開拓を助言します。

現状は健康不安をおおる情報にあふれ、多くの人が正しい情報を得ていません。そこを分かりやすく伝える商品づくりが使命と思っています。

飲食店を経営し、さらに菓子製造業の営業許可も持っているため、食品加工の試作やテスト販売も可能です。

2011年に6次産業化法が制定され、県や市町村からの依頼も企業からの依頼も急に増えました。6次産業化とは、第1次産業を担う農林漁業の生産者が食品加工(第2次産業)で生産物の価値を高め、自分で流通・販売(第3次産業)まで手掛け、利益を向上させることです。静岡県は多彩で魅力的な農林畜水産物の宝庫で、全国トップクラスの健康寿命を誇ります。今後は静岡の魅力や食から発信するお手伝いをしたいと考えています。

(公認スポーツ栄養士)